

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月30日・令和7年11月7日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	11人	人	人	15人

前回の改善計画
全スタッフと情報共有が図れるよう伝達を密に行う。
遠方の家族とも適宜連絡を取り、安心出来るサービスに繋がるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始時はサービス担当者会議で決まった内容を全職員に伝達している。利用者の体調、本人や家族からの要望、支援内容等、ミーティング等で 情報共有できている。 その一方で、初期支援の中で新たな課題が出てきた時に支援内容を軌道修正することで職員が混乱する場面がみられた。支援内容については丁寧に行う必要があると感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	4	1		15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	7			15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	11	4			15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	9			15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規サービス開始前には、本人、家族、関係者と集まりサービス担当者会議を行った。参加できなかった職員については、事前情報を回覧し情報共有した。
初めての関わりの際は、利用者宅に職員2名で同行訪問を行い、必要な支援内容を共有している。支援を行う中でプラン内容の変更にも速やかに対応する事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始前のミーティングに全員参加できない事が有り共有不足となる事が有る。
毎朝、利用開始前に集まりミーティングを行っているが、業務の都合により全職員が参加できない事もあり情報共有にズレが生じることがある。利用者が安全に心地よく利用できるような情報は共有し続ける必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
初期支援においては、支援内容を明確にし日々のミーティングにおいて経過報告や変化について情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月30日・令和7年11月7日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	10人	1人	人	15人

前回の改善計画
全職員が、ケアプランの内容を職員が認識できるようにし、本人の「～したい」に結びつくような利用者が発する言葉や行動などを、気づきノートを活用して情報共有し、次の対応、支援に生かせるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当が中心となり、個別支援計画に基づいた支援が行われ定期的に評価している。会議で本人の目標や「～したい」についての情報を取り上げ、介護支援専門員からの客観的な意見を参考にして次の支援に繋げている。担当者以外の利用者の目標支援は情報伝達不足などもあり、チームとしてうまくかかれていない面があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	7	7	1		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	6	7	2		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	6	7	2		15
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	7	6	2		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	計画書に目を通し、利用者及び家族の要望や課題を理解している。 毎月のモニタリングや定期的な3か月毎のカンファレンスで問題点や解決策等を職員や家族と一緒に考える事が出来た。いずれの表にも、ケアプラン内容が記載され反映されているので、利用者の目標が分かる書類となっており、そのうえで評価しモニタリングしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	自らの意思を表現できない利用者の表情やしぐさで、本人の気持ちや背景にあることを考えているが、目標設定に困るケースがある。本人の目標と家族の望みの相違が理解できない事もある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者の担当は固定にはせず、定期的に利用者担当を変更することで全職員が、全利用者のケアプランの内容を職員が認識できるようにする。利用者が発する言葉や行動などを、タブレットのレポートを活用して情報共有し、次の対応、支援に生かせるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月30日・令和7年11月7日

3. 日常生活の支援

メンバー 介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	7人	3人	人	15人

前回の改善計画	利用当初に作成した「以前の暮らし方」や「生活歴」については、本人や家族から情報を聞き取り「暮らしのシート」を定期的に見直し一人一人の情報を共有するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>上手く言葉で表現できない方でも、表情や仕草を見て支援しています。</p> <p>「以前の暮らし方」も含めて「現在の暮らし方」「興味のあること」を聞き出し日々の会話の題材にし楽しい時間が過ごせるように心がけている。</p> <p>積極的に本人や家族と話をすることで情報を引きだし、そこで得た情報をミーティングで共有できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	6	5	4		15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	9			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	6	8		1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	8			15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	9			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>サービス担当者会議の情報は回覧し職員全員で共有できるようにしている。</p> <p>日々の支援の中で、気になることや改善が必要となったときには職員で集まる時間を作り、積極的に業務改善に取り組んでいる。</p> <p>利用者の体調変化に気づき、事業所の職員だけではなく医療チームとも連携を図り必要な情報を発信、共有し支援を行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>些細な気付きが記録に残っていない事が有り変化に気づかない時がある。</p> <p>家庭の状況や本人の認知機能の低下によって「以前の暮らし方」が10個以上把握するのが難しい場合がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用当初に作成した「以前の暮らし方」や「生活歴」については、本人や家族から情報を聞き取り「暮らしのシート」に落とし込み情報を共有するようにする。</p> <p>その方の必要な情報は、常にタブレットのレポートページに入力し情報を共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月30日・令和7年11月7日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	3人	人	15人

前回の改善計画	<p>利用者を取り巻く環境の把握に努め、情報共有を密に行う。浮かび上がった課題等を会議で共有・検討を行い、必要に応じて関係機関に繋げていく。</p> <p>日常的な支援以外にも自然災害時の支援も念頭に、全利用者の緊急時の連絡先や避難所の把握をし利用者や家族と共有しておくようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>生活状況の把握に努め、会議やミーティングで情報の共有を行った。新規利用者が登録になるごとに家族への連絡網も迅速に行うことができた。</p> <p>特に、一人暮らしの利用者については介護支援専門員が中心となって、民生委員や近隣の方への挨拶でお互いの情報を共有できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	6	8	1		15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	7	2		15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	6	7	2		15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6	6	3		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>日々のかかわりの中でその人の生活状況を知ることができている。また、その情報を他の職員との共有し支援に繋げている。</p> <p>必要な情報を得るために、利用者や家族と積極的にコミュニケーションを図っている。遠方に住んでおられる家族には電話で近況報告を行い支援の方向性を確認しあっている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>どうしても、独居高齢者の情報収集に焦点が当たり、日常生活のすべてを把握して支援に当たっている事から情報共有は良好だと思う。</p> <p>一方で家族と同居されている利用者については、同居家族がいる安心感で家族に委ねているところがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者を取り巻く環境の把握に努め、情報共有を密に行う。浮かび上がった課題等を会議で共有・検討を行い、必要に応じて関係機関に繋げていく。</p> <p>日常的な支援以外にも自然災害時の支援も念頭に、全利用者の緊急時の連絡先や避難所の把握をし利用者や家族と共有しておくようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月30日・令和7年11月7日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	9人	人	人	15人

前回の改善計画	ミーティングや会議に参加できなかった職員に対しても出来るだけ多くの職員が参加できる場を作っていくようにする。 利用者の変化の気づきや、情報共有に繋げるためにも支援の証しとなる記録の残し方に心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人と家族からの要望、家庭の事情等にも配慮し、体調観察が必要な時は看護師と連携し受診を勧めたり、訪問回数を見直したり、通いや宿泊に切り替える等、柔軟に対応できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	9			1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	6			1
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	7	1		1
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	7			1

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人と家族からの要望、家庭の事情等にも配慮し、体調観察が必要な時は看護師と連携し受診を勧めたり、訪問回数を見直したり、通いや宿泊に切り替える等、柔軟に対応できている。 在宅生活が継続できるよう、必要なサービスを本人の状況に合わせて臨機応変に対応できている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること その日・その時のニーズに合わせて宿泊や通いの追加、送迎時間の変更は柔軟に対応している。 地域資源の活用については、特定の利用者にとどまっている。他にも介護サービス以外に必要としている資源や支援が有るのではないかと思うことはある。 必要と思われる資源の紹介や提案をしても、家族による拒否が有るとそれ以上の提案はできない現状がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティングや会議に参加できなかった職員に対しても出来るだけ多くの職員が参加できる場を作っていくようにする。 利用者の変化の気づきや、情報共有に繋げるためにもタブレットの活用を充実し、記録の忘れが無いように全ての情報はタブレットに記載し支援の証しとなるよう心がける。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月30日・令和7年11月7日

6. 連携・協働

メンバー 介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	7人	7人	1人	人	15人

前回の改善計画
事業所としての取り組みや行事を地域住民にも周知し、有事の際の潤滑な避難・連携が図れるよう取り組みを行う。 地域との繋がりが途絶えないように、可能な限り事業所の情報提供や地域に必要な情報発信を行うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年は少しずつ地域住民と合同イベントへの参加ができるようになった。事業所から地域に向けたチラシの配布や、情報提供を行いながら関係が途切れず繋がる工夫をした。 10月、11月と「さくらカフェ」の再開ができた。場所は近隣のウエルシア薬局の「ウエルシアカフェ」の交流場所を活用し認知症カフェを再開することができた。ウエルシア薬局とも連携が図れ、近隣の地域資源を活用することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	10	5			15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	10	3	2		15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	6	7	2		15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	3	6		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	今年度は「さくらカフェ」を再開することが出来た。10月、11月と「さくらカフェ」の再開ができた。場所は近隣のウエルシア薬局の「ウエルシアカフェ」の交流場所を活用し認知症カフェを再開することができた。ウエルシア薬局とも連携が図れ、近隣の地域資源を活用することができた。 地域住民と合同で地震を想定した防災訓練のイベントを実施することが出来た。 法人全体では、災害時の事業継続計画書の作成や、感染症、虐待研修も行った。事業所だけではなく法人全体として取り組むことが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	高齢者が利用する事業所として、感染症対策により建物内への立ち入りに一定の制限(面会場所・方法等)を設けている。要請があれば参加するが、地域の活動が縮小されている事や、日程調整がつかず参加できていない行事もある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域との繋がりが途絶えないように、可能な限り事業所の情報提供や地域に必要な情報発信を行うようにする。 地域自治会などの各種活動、イベントは可能であれば参加を再開する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月30日・令和7年11月7日

7. 運営

メンバー 介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	7人	2人	人	15人

前回の改善計画
 日常的な関わりの中、利用者や家族、地域からの要望等を真摯に受け止めることはもとより、声にならない小さなメッセージを汲み取り、スタッフ全員による情報共有と検討にてより良い支援が行えるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 定期的な運営推進会議の実施を行った。運営推進会議の内容報告として、職員へ口頭伝達と資料確認の呼びかけを行った。
 参加者は少なかったが今年度より認知症カフェを再開することができた。利用者や家族への利用満足度のアンケートを行い事業所の運営や質の向上に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	8	4	3		15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	8			15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	7	1		15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	7	7	1		15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 毎年同様に、利用者や家族に対してアンケートを行い、其々の思いを記入して頂き確認した。その内容や結果を取り纏め利用者・家族にもフィードバックした。アンケートの内容や結果は、事業所内で回覧し全職員と共有した。
 より良い事業所でのありかたや、利用者を支える運営を職員会議で検討し取り決めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 「さくらカフェ」再開で地域の方との交流も増えてきている。一部の地域住民の方に過ぎないため、個人の心配事は参加して頂いた方から話を聞くことはできたが、もっと多くの方からの地域の困りごとについての事例を頂けるようにしたい。しかし、事業所としては「地域の高齢者やその家族を守りたい、協力体制を充実させたい」という気持ちは充分にある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 日常的な関わりの中、利用者や家族からの要望等を真摯に受け止めることはもとより、地域との共同取り組みを実現できるよう努力し、地域の方の声を聞かせて頂ける機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月30日・令和7年11月7日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	10人	4人	1人	人	15人

前回の改善計画
外部研修や内部研修への参加の呼びかけを行い多くの職員が参加できる場を作っていく。短時間勤務の職員にも研修の機会を設け、全職員のスキルアップと質の向上に努める。 業務内容の分担を見直し、個別的なスキルアップ体制に努め遣り甲斐の有る職場作りを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年度の内部研修は法人全体での研修として介護事業部共通の研修を多く実施した。 職員全員ではないが外部研修への参加により、職員の知識の向上や、キャリアアップを目指す研修参加となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	12	2	1		15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	11	3	1		15
③	地域連絡会に参加していますか	7	4	4		15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	7	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	今年度の内部研修は法人全体での研修として介護事業部共通の研修を多く実施した。 職員全員ではないが外部研修への参加により、職員の知識の向上や、キャリアアップを目指す研修参加となった。 外国人技能実習生も特定技能者に昇格し、全職員で協力しながら育成に努める事が出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ヒヤリハット報告を基に安全対策も取っているが、再び同じ内容のヒヤリハット報告が出てしまった。 技能実習生が入職し3年の節目という事も有り、雇用期間満了の時期となり当たらない職員の雇用や育成が課題となっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	生産性向上の取組みとして、ICTの活用や介護ロボットの活用を生かし、業務の効率化を図り事業所の質の向上につなげていく。 業務内容の分担を見直し、安全で働きやすい職場環境作りを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月30日・令和7年11月7日
9. 人権・プライバシー	メンバー	介護支援専門員、管理者、介護職員、計15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	6人	人	人	15人

前回の改善計画	継続し、利用者のプライバシーや尊厳が守れるよう努めると共に、自分達の立ち振る舞い等を常に振り返る機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束や虐待に関する勉強会を実施し、理解を深め意識付けを行っている。 ヒヤリハット・事故報告が起きたときは迅速に話し合い、再発防止策が検討された。 その場になかった職員にも報告書を回覧し、状況が詳しく分かるよう申し送りができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12	3			15
②	虐待は行われていない	9	6			15
③	プライバシーが守られている	9	6			15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	4			15
⑤	適正な個人情報の管理ができています	11	4			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 成年後見制度の活用が必要な方については、介護支援専門員を中心に行政担当者や公的機関担当者と連携を図っている。 ケアを行う際は、「身体拘束や虐待を行わない」に努めている。常に利用者の方に嫌な思いをさせないように注意して行動している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員間で、ヒヤリハット報告の認識不足があり、些細なことも報告し職員間で共有する必要がある。ヒヤリハット報告マニュアルが必要と感じている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ヒヤリハット・アクシデント報告の事案が発生した際は、当日に状況の確認と予防策を行う。 報告書マニュアルに沿って、事故が起きた際には迅速に話し合い、再発防止に心がける。
---------------	--

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・総合的に見て、できている点も多くあるが、新人職員が入職された時点で再度繰り返し確認していくことが大事だと思う。
- ・全体を通して、一生懸命に外部評価に取り組み自己評価を行っていると感じた。姿勢は良い。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・できなかったことを認識して、今後も引き続き評価目標にしていく必要があると思う。
- ・何事にも努力していると感じた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・改善計画を考えるときに、事業所評価の1～9番までの課題をグルーピング化にして改善計画を立ててみると良いかと思う。
- ・具体的に改善できそうな事に絞り、現時点で実行可能でかつ必要な事を項目ごとに改善計画として立てるのが良い。
- ・わかりやすく具体的が良いと思う。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・自分の評価であるので、個人にとっては振り返りができる機会となっていると思う。

【改善計画】※後日記入

現時点で実行可能で、改善が必要な事を具体的な計画にする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いつ伺っても清潔感が感じる。
- ・事業所に伺っても嫌な臭いもなく事業所内は清潔で明るいイメージです。

【前回の改善計画】

開設して15年が経過し建物の各所の経年劣化が見られてきているため、必要な修繕や購入も検討しながら、ご利用者に不便を掛けないようにしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・ご利用者の家族や地域のボランティア、他事業所関係者含め外部からの人の出入りに関しては感染状況を見ながら緩和してきている。
- ・臭いに関しては換気も含め排泄処理など、職員全員で充分気をつけている。
- ・ご利用者同士や、職員との会話が多くできるように席ならび等工夫している。

【今回の改善計画】※後日記入

事業所の室内はもとより、事業所周辺の清掃に心がけ清潔感が感じられるよう努める。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所に来所した際も、どの職員さんも快く対応して頂いたり、事業所から漏れる笑い声を聞いているとほっこりします。
- ・地域の方は、事業所の存在は理解できていると思う。特に隣接している地域住民は困ったことが有ったら事業所に相談に行けばよいと思っている。
- ・文化祭や、防災イベントでは事業所と地域住民の方との交流会もあり、お互いが共助できる関係になっている。

【前回の改善計画】

感染対策にも留意し、以前のように地域の繋がりを大切にし、共同で「文化祭」や「防災訓練」を実施し事業所に対しての理解を深めて頂くようにする。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・コロナ禍以降に地域での行事が縮小されており、夏祭りなどは無くなっている。その為に地域に出向いて参加する機会は無くなったが、地域の方が事業所に来て頂いて一緒に防災イベントや文化祭イベントを開催することができている。
- ・一般市民の方が直接事業所に訪ねてきて、介護保険サービスの利用の相談に来所して下さる方もいた。

【改善計画】※後日記入

感染対策に留意しながら、地域の方や家族の方が自由に来所できるよう努める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・不特定多数の方が密集する場所は避けつつ、春には外食をしたり、ドライブや散策などの企画実施をした。
- ・コロナ禍以降は「さくらカフェ」を外で行っていたが人が集まらなかったが、近隣にあるウエルシア薬局のウエルカフェの場を借り、「さくらカフェ」を月1回だが再開できるようになった。
- ・近隣住民には、事業所の広報誌やチラシを配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行った。

【前回の改善計画】

地域で行われているイベントを確認し、地域交流が持てる時期や内容を再検討し実施に向けて考える。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・「さくらカフェ」を開催していると、参加者から今生活に困っている事や、介護サービス利用に関しての相談を受けることがあり、「さくらカフェ」の開催には多くの役割が含まれている。
- ・「さくらカフェ」の開催時は、地域住民の方にはチラシを配布し、ウエルシア薬局の店舗にもチラシを配布し開催日を知らせている。

【改善計画】※後日記入

「さくらカフェ」の開催を通じて、地域住民の方が相談しやすい場として継続する。事業所の中だけではなく、近隣の地域に出かけていき、買物・外食・散歩等行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ さくら新聞発行で様子が分かります。新聞の内容を見ていると繋がりが感じられます。
- ・ コロナ禍以降は書面開催の場合でも、質問をしても次回の開催時に回答をされており、取組みや改善について分かり易い。

【前回の改善計画】

事業所の様子が解る「さくら新聞」を地域にも発行し、地域の気になる課題が有れば、いつでも共有できるような繋がりを作る。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・ 運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・ 地域の情報収集の場にしながら、何か支援できることがあれば協力していく。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議時は、地域の情報収集の場の時間も作り、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。地域の課題に何か支援できることがあれば協力していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	6		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	6		
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・BCP（事業継続計画）の策定は完了した。職員への周知もミーティングや研修で行った。今後も引き続き緊急時・災害時の対応についての周知が必要なので研修会（年2回）の開催をしていく。
- ・事業所の消防訓練は、ご利用者を含んだ移動を伴う訓練を行っている。

【前回の改善計画】

全職員に対してBCPの周知や訓練を通して、見直しを図り実際の現場に即したものとす
る。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・災害時に事業所から連絡があった時には、家族側としてどのように対応するべきなのか考
えました。
- ・夜間の災害時は職員が少なく、地域の協力体制を構築していく必要がある。
- ・有事の際は、地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんや
運営推進員さんにも防災訓練参加協力をお願いする。

【改善計画】※後日記入

BCP（事業継続計画）訓練や研修会等で全職員の意識統一を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

(令和7年)

法人名	医療法人かおり会	代表者	本多朋仁	法人・事業所の特徴	医療法人会の運営により、サービス付き高齢者向け住宅と併設された建物で多機能な対応が出来る。また事業所の自ら持てる機能と地域にある機能とを合わせ、ご本人の暮らしを支援出来るように心掛けています。地域の方への発信と仲間作りを目的に、事業所でのイベントや地域交流の機会を作っています。
事業所名	メディケアさくら	施設長	澤田悦子	事業所の概要	

出席者	市町村職員	0人	地域住民・地域団体	1人	利用者	0人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	2人	その他	人	合計	6人
	知見を有するもの	1人																

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>出来るだけ多くの職員が集まり、ミーティングの時間を取り情報共有ができるよう、業務内容や時間の取り方を工夫する。</p>	<p>総合的に見て、できている点も多くあるが、新人職員が入職された時点で再度繰り返し確認していくことが大事だと思ふ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、一生懸命に外部評価に取り組み自己評価を行っていると感じた。姿勢は良い。 できなかつたことを認識して、今後引き続き評価目標にしていく必要があると思ふ。 何事にも努力していると感じた。 	<p>・改善計画を考えるときに、事業所評価の1〜9番までの課題をグループ化にして改善計画を立ててみると良いかと思ふ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的に改善できそうな事に絞り、現時点で実行可能でかつ必要な事を項目ごとに改善計画として立てるのが良い。 わかりやすく具体的に良いと思ふ。 自分の評価であるので、個人にとっては振り返りができる機会となっていると思ふ。 	<p>現時点で実行可能で、改善が必要な事を具体的な計画にする。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>開設して15年が経過し建物の各所の経年劣化が見られてきているため、必要な修繕や購入も検討しながら利用者に不便を掛けないうようにしていく。</p>	<p>・いつ伺っても清潔感が感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所に伺っても嫌な臭いもなく事業所内は清潔で明るいイメージです。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の家族や地域のボランティア、他事業所関係者を含め外部からの人の出入りに関しては感染状況を見ながら緩和してきています。 臭いに関しては換気も含め排泄処理など、職員全員で充分気を付けています。 ご利用者同士や、職員との会話が多くできるように席ならび等工夫している。 	<p>事業所の室内はもとより、事業所周辺の清掃に心がけ清潔感が感じられるよう努める。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>感染対策にも留意し、以前のよう地域との繋がりを大切に、共同で「文化祭」や「防災訓練」を実施し事業所に対しての理解を深めて頂くようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所に来所した際も、どの職員さんも快く対応して頂いたり、事業所から漏れる笑い声を聞いているとほっこりします。 地域の方は、事業所の存在は理解できていられると思ふ。特に隣接している 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以降に地域での行事が縮小されており、夏祭りなどは無くなってきている。その為に地域に出向いて参加する機会は無くなったが、地域の方が事業所に来て頂いて一緒に防災イベントや文化祭イベント 	<p>感染対策に留意しながら、地域の方や家族の方が自由に来所できるように努める。</p>

		<p>地域住民は困ったことがあったら事業所に相談に行けばよいと思 っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や、防災イベントでは事業所と地域住民の方との交流会もあり、お互いが共助できる関係になっている。 ・不特定多数の方が密集する場所は避けつつ、春には外食をしたり、ドライブや散策などの企画実施をした。 ・コロナ禍以降は「さくらカフェ」を外で行っていた人が集まらなくなかったが、近隣にあるウエルシア薬局のウエルカフェの場を借り、「さくらカフェ」を月1回だが再開できるようになった。 ・近隣住民には、事業所の広報誌やチラシを配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行った。 	<p>地域住民は困ったことが有った ・一般市民の方が直接事業所に訪ねてきて、介護保険サービスの利用の相談に来所して下さる方もいた。</p>	<p>「さくらカフェ」の開催を通じて、地域住民の方が相談しやすい場として継続する。 事業所の中だけでなく、近隣の地域に出かけていき、買物・外食・散歩等行う。</p>
<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>地域で行われているイベントを確 認し、地域交流が持てる時期や内 容を再検討し実施に向けて考え る。</p>	<p>・「さくらカフェ」を開催している と、参加者から今生活に困ってい る事や、介護サービス利用に関し ての相談を受けることがあり、「さ くらカフェ」の開催には多くの役 割が含まれている。 ・「さくらカフェ」の開催時は、地 域住民の方にはチラシを配布し、 ウエルシア薬局の店舗にもチラシ を配布し開催日を知らせている。</p>	<p>・運営推進会議時、地域の困りご とについての話し合いの時間を設 ける。 ・地域の情報収集の場にしながら ら、何か支援できることがあれば 協力していく。</p>	<p>運営推進会議時は、地域の情報収 集の場の時間も作り、地域の困り ごとについての話し合いの時間を 設ける。地域の課題に何か支援で きるることがあれば協力していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>事業所の様子が解る「さくら新聞」 を地域にも発行し、地域の気にな る課題が有れば、いつでも共有で きるような繋がりを作る。</p>	<p>・さくら新聞発行で様子が分かりま す。新聞の内容を見ていると繋がりが 感じられます。 ・コロナ禍以降は書面開催の場合で も、質問をしても次回の開催時に回 答をされており、取り組みや改善に ついて分かり易い。</p>	<p>・災害時に事業所から連絡があつ た時には、家族側としてどのよう に対応するべきなのか考えまし た。 ・夜間の災害時は職員が少なく、 地域の協力体制を構築していく必 要がある。 ・有事の際は、地域との協力体制 も考えていかないといけないと思 うので、地区役員さんや運営推進 員さんにも防災訓練参加協力をお 願いします。</p>	<p>BCP（事業継続計画）訓練や研修会 等で全職員の意識統一を行う。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>全職員に対してBCPの周知や訓練 を通して、見直しを図り実際の現 場に即したもののへとす。</p>	<p>・BCP（事業継続計画）の策定は完了 した。職員への周知もミーティン グや研修で行った。今後も引き続き緊 急時・災害時の対応についての周知 が必要なので研修会（年2回）の開 催をしていく。 ・事業所の消防訓練は、ご利用者を 含んでの移動を伴う訓練を行って いる。</p>	<p>・災害時に事業所から連絡があつ た時には、家族側としてどのよう に対応するべきなのか考えまし た。 ・夜間の災害時は職員が少なく、 地域の協力体制を構築していく必 要がある。 ・有事の際は、地域との協力体制 も考えていかないといけないと思 うので、地区役員さんや運営推進 員さんにも防災訓練参加協力をお 願いします。</p>	<p>BCP（事業継続計画）訓練や研修会 等で全職員の意識統一を行う。</p>